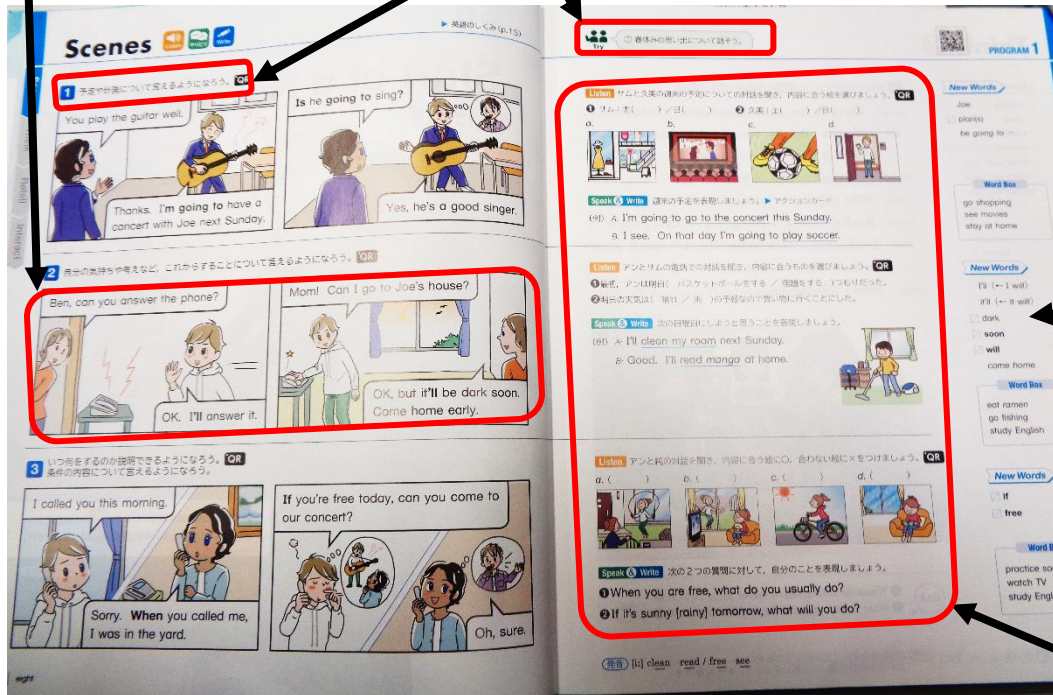


【英語科編】

1 学習方法

① 教科書の学習

英語科の教科書は最初にその単元で学習する、学習課題が載っているので確認します。また、その単元で出てくる新出の表現を使った場面も載っているので確認します。



どんな場面で使われているかな？

新出語句

話す・聞く・書く活動

② 問題演習

ワークやプリントなどで、自分が理解しているかを確認していきます。「知らない・忘れてる」ものは改めて調べ直しましょう。答えとなる単語やその意味、表現などから逆に問題文を作れるようになればしめたものです。

③ コミュニケーション活動

教科書の学習や問題演習で学習した単語や表現を使って、実際の場面を想定した活動を行います。活動の形式は発表会やインタビュー、会話のやりとりなど様々な形式があります。その単元に限らず、いままでに学習してきた単語や表現も積極的に使えるといいですね。

2 ポイント

☆英単語は繰り返し、練習しよう。

繰り返し練習することで、スペルミスが減ったり、発音やアクセントまで気をつけたりできるようになります。また、どんな文で使われているかなど、例文も調べてみましょう。

☆学習した表現は積極的に使おう。

せっかく表現の使い方や場面を学習したのに、その表現を使わないのはもったいないです。自転車も乗り方だけ覚えて乗らない人はいませんよね。英語も同じように使い方だけ覚えて終わりではなく、積極的に使うことでその表現をより深く理解することができます。

3 評価の観点と方法

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点と趣旨	外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどを理解するとともに, これらの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり, これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・授業中の発問に対する解答 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・レポートやワークシート ・授業中のやりとり ・活動の様子 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートやワークシート ・活動への取り組みの様子 ・授業態度 ・提出物

4 授業の受け方・ポイント

○学習した表現を使って自己表現しよう

英語科は単元ごとに新しい表現を学習します。その表現を使って、自分の気持ちや考えを発表したり、相手の気持ちや考えを聞いたりしていきます。新しく学習した表現を使うことで、伝え方や伝わり方の幅が広がっていきます。

○間違いを恐れずに積極的に参加しよう

気持ちや考えを相手に伝えるためには積極的にコミュニケーションをとる必要があります。「文法が正しいかな?」や「発音が違うかも?」などのように間違いを怖がっているのは、コミュニケーションをとることは難しいです。だからこそ、授業中は積極的に発言をしたり、活動に参加したりすることが大切です。

5 家庭学習

○単語や表現をたくさん練習しよう

その日に学習した新出の単語や表現をその日のうちに復習しましょう。単語を見て意味が思い浮かぶ・日本語から英語を書くことが出来るようになるように繰り返し練習しましょう。また、たくさん練習してスペルミスがないようにしましょう。

○辞書に載っている単語の意味とその周りの情報も一読する

意味を調べる際にその意味だけでなく、その周辺の例文や写真などをみて理解を深めましょう。一つの単語でも様々な意味をもっています。文脈や場面によって意味を使い分けられるように調べてみましょう。

英語科担当	野口 光由	浅沼 祥太郎	中里 真悠	桑原 拓也
-------	-------	--------	-------	-------